

Title	『大阪外国語大学留学生日本語教育センター 授業研究』第3号 刊行にあたって
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学留学生日本語教育センター授業研究. 3
Issue Date	2005-03
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/10206
DOI	
rights	本文データはCiNiiから複製したものである

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

『大阪外国語大学留学生日本語教育センター 授業研究』

第3号 刊行にあたって

大阪外国語大学留学生日本語教育センターは、1954年に設置された留学生別科を改組して1991年に発足しましたが、これまで研究留学生、学部留学生、教員研修留学生、日本語・日本文化研修留学生など様々な種別の多数の留学生を受け入れてきました。その間、留学生の多様なニーズに応えられるように教育プログラムの工夫・改善を重ねてきましたが、より良いプログラムの開発には日頃の教育の中から生み出されてきた方法論や教材論をできうる限り共有し、蓄積することが肝要であると考えています。

そこで、本センターではケーススタディー、教材マニュアル、授業報告、教材分析等について専任教員・非常勤講師がともに自由に発表できる場を提供し、より良い教育方法の確立と教材の開発に繋がっていくことを目指して、2003年3月に『大阪外国語大学留学生日本語教育センター 授業研究』を創刊しましたが、この度第3号を刊行する運びとなりました。

2004年4月には国立大学の独立行政法人化が実施され、留学生教育においても「質」がより重要視され、より優れた留学生の教育が今まで以上に求められているところです。その目的のためにもこの『授業研究』が役立つことを願ってやみません。

何卒ご高覧を賜り、今後のセンターでの教育のより一層の充実のために、御批判・御教示をいただければ幸甚に存じます。

2005年3月

『大阪外国語大学留学生日本語教育センター 授業研究』
編集委員会